



” 堕ちた神の手”
地下大神殿

人類が踏破することの
できない高難度
ダンジョンの一つ

後もう少し…

ダッ

ダッ

ダッ

もう少しで
最深部に
たどり着く…!

戻ってきましたよ
師匠…!

10年前…
幼く未熟だった俺は
ダンジョンに仕掛け
られた罠にかかり

大切な師匠を
石化の呪いによつて
失ってしまった…

ダッ

逃げのびた俺は
師匠を救うために
死にもぐるいで
腕を磨いて…

待っていて
ください師匠!

絶対に救つて
みせますから!

ハッ
アッ



師匠ー!!

アーンンン



師匠…
じゃない!?

馬鹿な…!
場所はここで
あっているはず…

なぜこんな師匠を
模した女の石像が…

ゴ



目覚めよ

ん…

目覚めよ

誰かが…俺を…
呼んでいる…？

俺は…石像に
なつたんじや…

!?



何だ
この身体はっ



最後の
仕上げだ

そして
これが！

汝は石化し
我が魔力を浴び
続けることで
その身を淫魔へと
昇華させた

そなた
人の子よ

なつ何者だ
姿を現せ！

んやん



俺を
犯すなあ！

ここは汝の
精神世界

長い年月をかけた
世界を掌握された汝は
もはや私の支配からは
逃れられぬ

やめろおつ
俺は男だ!!

なんたこれえつ

我は邪神の眷属
この迷宮の
意思そのもの

そして汝を支配し
邪神様の眷属へと
作り変える装置



こんなの認める
わけにはいかな...

お：俺は
人間なんだつ

くそ...つ
離せえつ
離せろおつ



精神世界では
時間は無限に存在する

おっ♡

おっ♡

我が体内でじつくりと
その魂を墮落させよう
ではないか

おっ♡

ズ
モ
ズ
モ



だれか…

はっ♡

たすけ…

オッ♡

ン♡

はっ♡
ズ
モ
ズ
モ



アヒツこれ
すごい

こんなの知つたら
ダメになる♡

はっ♡
はっ♡

バアタマつ
バカになっちゃう

快樂とともに
人の心を
捨て去ると良い

はっ♡
はっ♡

はっ♡

ズ
モ
ズ
モ

イクミ♡

イツちやうつ♡

ほ♡

は♡

オマンコ
イクうっ♡

支配されるのって
こんなに気持ち
いいなんて
知らなかったあ♡

邪神様の支配で
メスになるうっ♡

オマンコ支配されて
バカになっちやうう♡♡

トキョ

トキョ

グキョ

グキョ

グキョ

トキョ

ぎゅ

ぎゅ

人間なんて
やめて当然ですっ

こんな幸せ知つたら
人間なんて滅んで当然の
害虫としか思えませんっ♡

眷属に選んで頂いて
本当に感謝しておりますっ♡

この身はすべて
邪神様にい♡

捧げますっ♡♡

ドモ

はー

はー

ドモ

ドモ

はー

はー

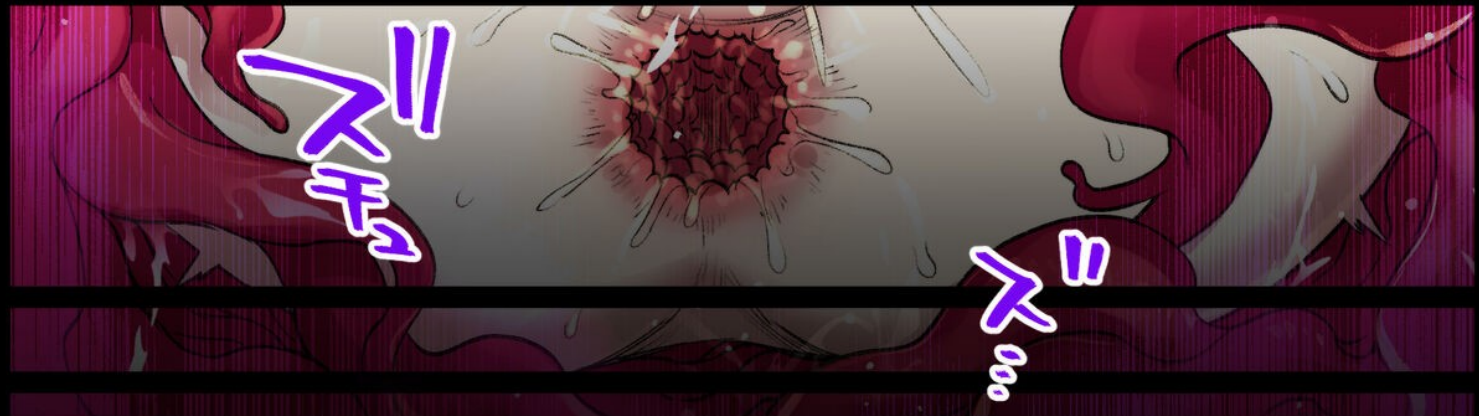
ドモ

はー



逆らう人間どもは
全て皆殺しいつは♡

邪神様の統べる未来こそ
この世界のあるべき
姿でございませう♡♡



師匠ー!

オシ



ノ
ノ

ノ
ノ
ノ

ノ
ノ
ノ

石化が…!?

なっ

—はあっ♡

あ…

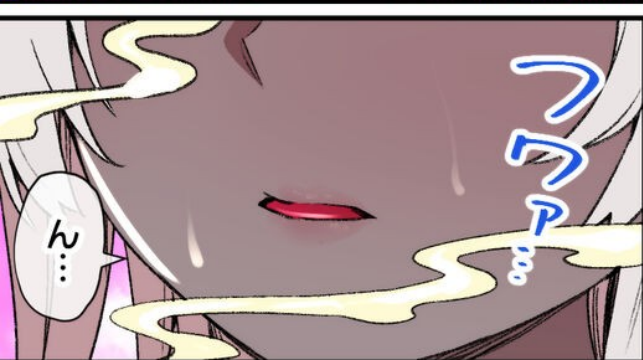


ああ…変わるっ
変わっちやうっ♡

生まれ変わって
イクツ…

イツちやう…っ♡

ふうしゃあま
あま



ん…

つ
つ



この匂いは…

ああ…そうか…
戻ってきたのか…



これが
淫魔の肉体…
は

素晴らしい…♡
は



イツグううっ♡♡

人が…魔物に
変化しただど!?

な…なんだ
これは…

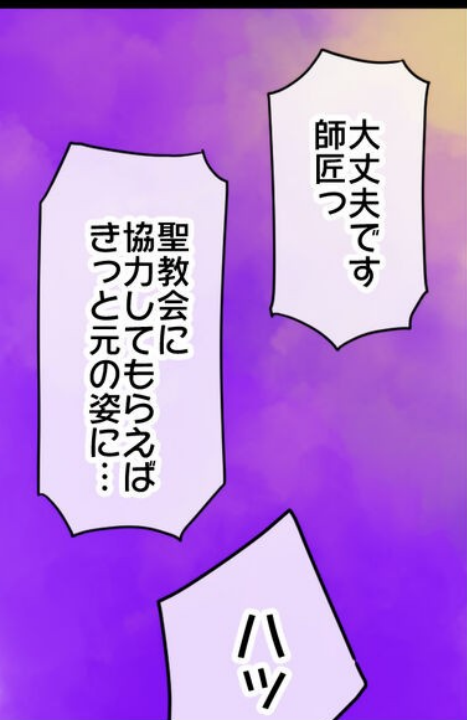


—よお
バカ弟子

ちようどいい
ところに来たな

カ
ツ
ン

カ
ツ
ン



大丈夫です
師匠つ

聖教会に
協力してもらえば
きつと元の姿に…

ハツ



し…師匠
なんですか…?

戸惑うのも
無理はない

こんな姿に
なつて驚いた
だろ…?

ここに石像として
放置されてる間に
魔力に染まって
身体が変化しちまった



馬鹿を
言うな

ニ
イ
イ



俺は生まれ
変わったんだよ

口でもマンコでも
クツの穴でも好きなら
男の精を搾り取れる

邪神様に従つて
男を漁り人を墮落させる
淫らな存在に…

今の「私」は
邪神様の眷属

愚かにも人類のために
邪神様の領域を侵すだなんて

うう...

かつての私は
なんて愚かなことを
考えていたのかしら

淫魔にしてこの領域を
守護するガーゴイルよ♡

この世界を統べるのは
我ら闇の種族こそが
ふさわしい♡

おっ！

おっ！

師匠...

ぶっ

貴方は...もう...



ふうん…

しばらく見ない間にずいぶんと
勇ましくなっただわね



…これ以上
何も言いません

師匠を
討つ!

それが弟子としての
俺の役目…!

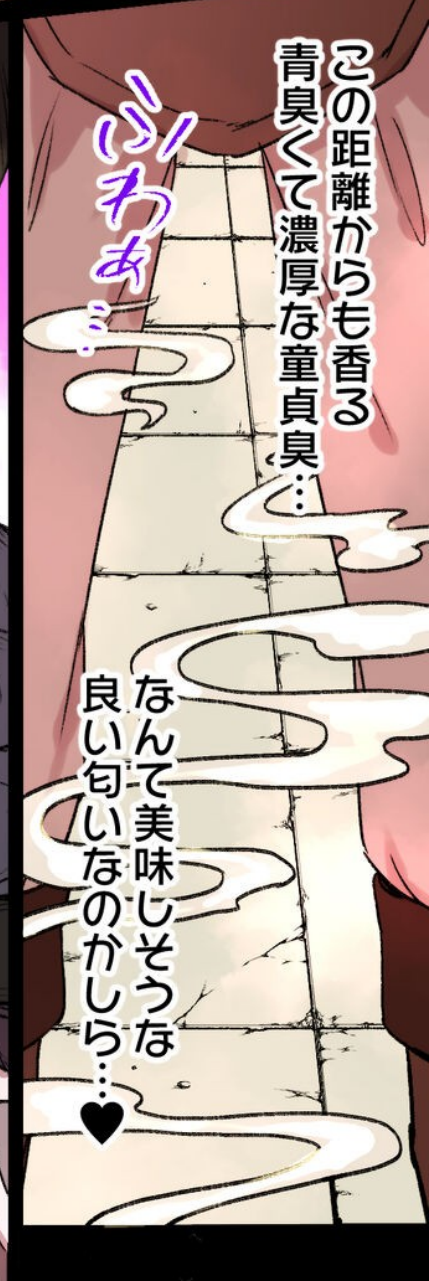


それに…

身体も立派に
成長して…



師匠として
アタタの成長具合
確かめてあげる♡



この距離からも香る
青臭くて濃厚な童貞臭…

なんて美味しそうな
良い匂いなのかしら…♡



んっ

はっ

あっ

んっ

あっ

くっくっ
師匠…っ

もうっ
やめてくれえ

遠慮しないで
大好きな師匠の
オマンコもつと
味わっていいのよ？

ふふっ

はあっ
アナタの童貞精液
本当に美味しい♡

でもこれ以上
吸い取つたら
死んじゃうわね♡



何を…



んがああっ
アツアツ

身体がつ

ガーゴイルになった
今でもアナタは私の
可愛い弟子だもの♡



だから
これはお礼♡

じゅっ



あは

—だから

貴女も邪神様の眷属にしてあげる♡

ひいっ

身体が…っ

110キ

110キ

110キ

110キ

いやだ…

やめてくれ…

師匠の私が保証してあげる♡

いやだ
あああ

俺は魔物になんかたいたくない…

安心しなさい

貴女もすぐに邪神様に支配される喜びを理解できるようになるわ♡

110キ



ここが最深部か…

かつて誰も攻略出来た者は居ないという…

ここを踏破すれば俺たちも英雄として名を残せるな

ばーか
英雄で腹が膨れるかよ

そんなこと考えてる暇があつたら落ちてる財宝一つたいとも見逃すなよ

なんせ未盗掘のダンジョンだから何が価値のあるアイテムがどれだけ眠ってるか

ザッ

ザッ

ザッ

ザッ



愚か者ども…



邪神様の支配する
領域へ土足で
踏み込むなんて…

本当に人間は
害悪な存在ね♡

ええ
お姉さま

クッス

愚かな人間どもにはあ
私たちの手でたっぷり
罰を与えまじよう♡



私たちがゴイルが
貴方たちの相手をしてあげる

” 堕ちた神の手”
地下大神殿

人類が踏破することの
できない高難度
ダンジョンの一つ

後もう少し…

ダッ

ダッ

ダッ

もう少しで
最深部に
たどり着く…!

戻ってきましたよ
師匠…!

10年前…
幼く未熟だった俺は
ダンジョンに仕掛け
られた罠にかかり

大切な師匠を
石化の呪いによつて
失ってしまった…

逃げのびた俺は
師匠を救うために
死にもぐるいで
腕を磨いて…

待っていて
ください師匠!

絶対に救つて
みせますから!

ハッ
アッ



師匠!!

ア
ニ
ン



師匠...
じゃない!?

馬鹿な...!
場所はここで
あっているはず...

なぜこんな師匠を
模した女の石像が...

ゴ



||

—のよ

ん…

目覚めのよ

誰かが…俺を…
呼んでいる…？

俺は…石像に
なつたんじや…

!?

何だ
この身体はっ



最後の
仕上げだ

んおやッ

そして
これが！

汝は石化し
我が魔力を浴び
続けることで
その身を淫魔へと
昇華させた

そつた
人の子よ

なつ何者だ
姿を現せ！



俺を
犯すなあ！

ここは汝の
精神世界

長い年月をかけた
世界を掌握された汝は
もはや私の支配からは
逃れられぬ

やめろおつ
俺は男だ！！

なんたこれえつ

我は邪神の眷属
この迷宮の
意思そのもの

そして汝を支配し
邪神様の眷属へと
作り変える装置



こんなの認める
わけにはいかな...

お：俺は
人間つなんだつ

くそ...つ
離せえつ
離せろおつ



精神世界では
時間は無限に存在する

おっ♡

おっ♡

我が体内でじつくりと
その魂を墮落させよう
ではないか

おっ♡

ズ
モ
ズ
モ



だれか…

はっ♡

たすけ…

オッ♡

ン♡

はっ♡

ズ
モ
ズ
モ



アヒツこれ
すごい

こんなの知つたら
ダメになる♡

はっ♡

バアタマつ
バカになっちゃう

快樂とともに
人の心を
捨て去ると良い

はっ♡

はっ♡

ズ
モ
ズ
モ

イクミ♡

イツちやうつ♡

ほ♡

は♡

オマンコ
イクうっ♡

支配されるのって
こんなに気持ち
いいなんて
知らなかったあ♡

邪神様の支配で
メスになるうっ♡

オマンコ支配されて
バカになっちやうっ♡

トキョ

トキョ

い♡

グキョ

グキョ

グキョ

トキョ

人間なんて
やめて当然ですっ

こんな幸せ知つたら
人間なんて滅んで当然の
害虫としか思えませんっ♡

眷属に選んで頂いて
本当に感謝しておりますっ♡

この身はすべて
邪神様にいっ♡

捧げますっ♡♡

ドモ

はー

はー

ドモ

ドモ

はー

はー

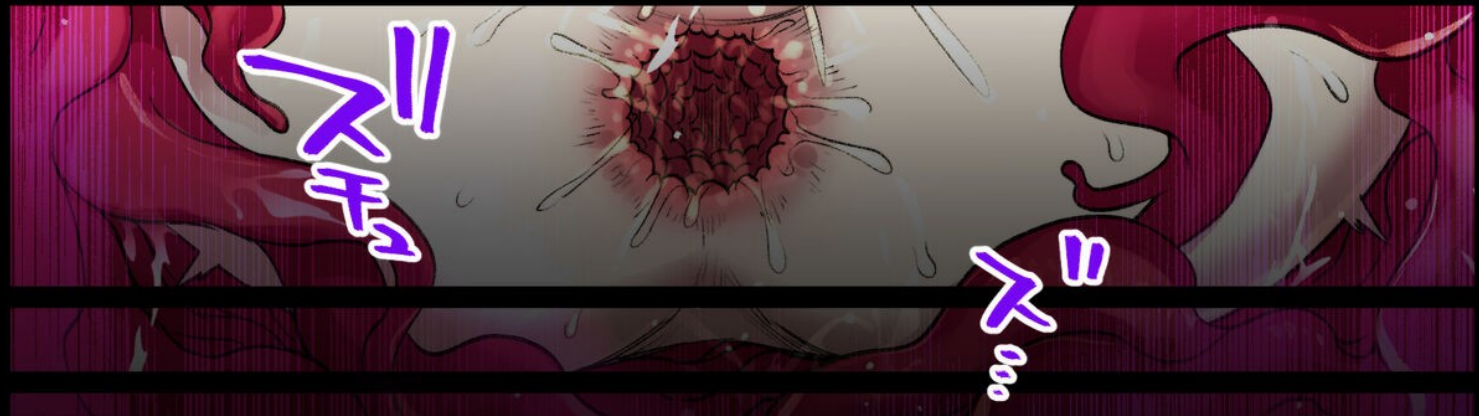
ドモ

ドモ



逆らう人間どもは
全て皆殺しいつは♡

邪神様の統べる未来こそ
この世界のあるべき
姿でございませう♡♡



師匠ー!

トク



—はあっ♡

なっ

石化が…!?

あ…

LO
ミッ

LO
ミッ

LO
ミッ

ミッ
ミッ

ミッ
ミッ

ミッ
ミッ

ミ
ミ

ミ
ミ

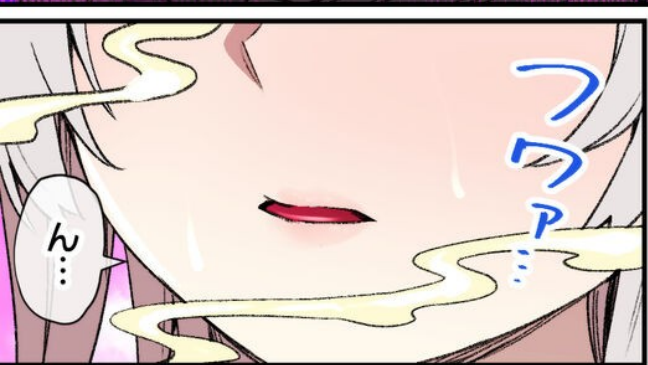


ああ…変わるっ
変わっちやうっ♡

生まれ変わって
イクツ…

イツちやうっ…♡

まあ
まあ
まあ
まあ



ん…

つうア…



この匂いは…

ああ…そうか…
戻ってきたのか…



これが
淫魔の肉体…
は

素晴らしい…♡
は



人が…魔物に
変化しただど!?

な…なんだ
これは…

イツグううっ♡♡

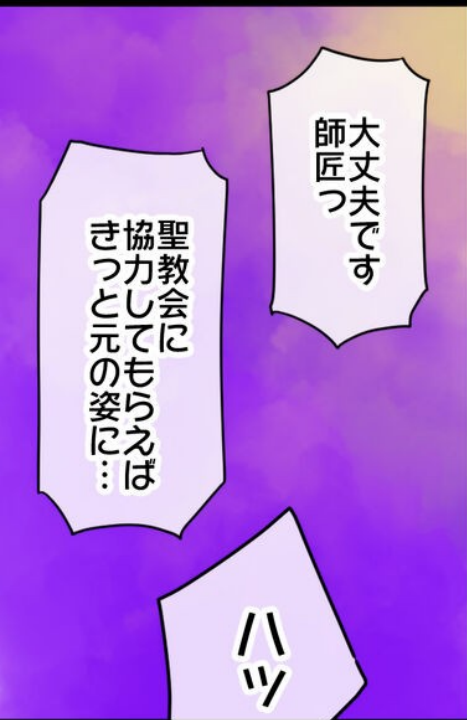


—よお
バカ弟子

ちようどいい
ところに来たな

カ
ツ
ン

カ
ツ
ン



大丈夫です
師匠つ

聖教会に
協力してもらえば
きつと元の姿に…

ハツ

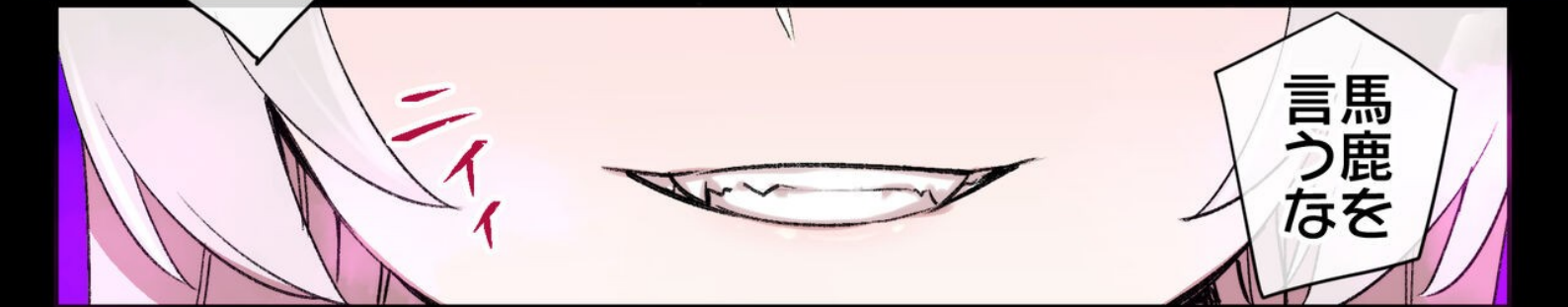


し…師匠
なんですか…?

戸惑うのも
無理はない

こんな姿に
なつて驚いた
だろ…?

ここに石像として
放置されてる間に
魔力に染まって
身体が変化しちまった



馬鹿を
言うな



俺は生まれ
変わったんだよ

口でもマンコでも
クツの穴でも好きなら
男の精を搾り取れる

邪神様に従つて
男を漁り人を墮落させる
淫らな存在にっ

今の「私」は
邪神様の眷属

愚かにも人類のために
邪神様の領域を侵すだなんて

かつての私は
なんて愚かなことを
考えていたのかしら

淫魔にしてこの領域を
守護するガーゴイルよ♡

この世界を統べるのは
我ら闇の種族こそが
ふさわしい♡

師匠…

貴方は…もう…



ふうん…

しばらく見ない間にずいぶんと勇ましくなったわね



…これ以上何も言いません

師匠を討つ!

それが弟子としての俺の役目…!



それに…

身体も立派に成長して…



師匠としてアタタの成長具合確かめてあげる♡



この距離からも香る青臭くて濃厚な童貞臭…

なんて美味しそうな良い匂いなのかしら…♡



んっ

はっ

あっ

んっ

あっ

くっくっ
師匠…っ

もうっ
やめてくれえ

遠慮しないで
大好きな師匠の
オマンコもつと
味わっていいのよ？

ふふっ

はあっ
アナタの童貞精液
本当に美味しい♡

でもこれ以上
吸い取つたら
死んじゃうわね♡



何を…



んがああっ
アッアッ

身体がつ

ガーゴイルになった
今でもアナタは私の
可愛い弟子だもの♡



だから
これはお礼♡

じゅる



あは

—だから

貴女も邪神様の眷属にしてあげる♥

ひいっ

身体が…っ

110キ

110キ

110キ

110キ

いやだ…
やめてくれ…

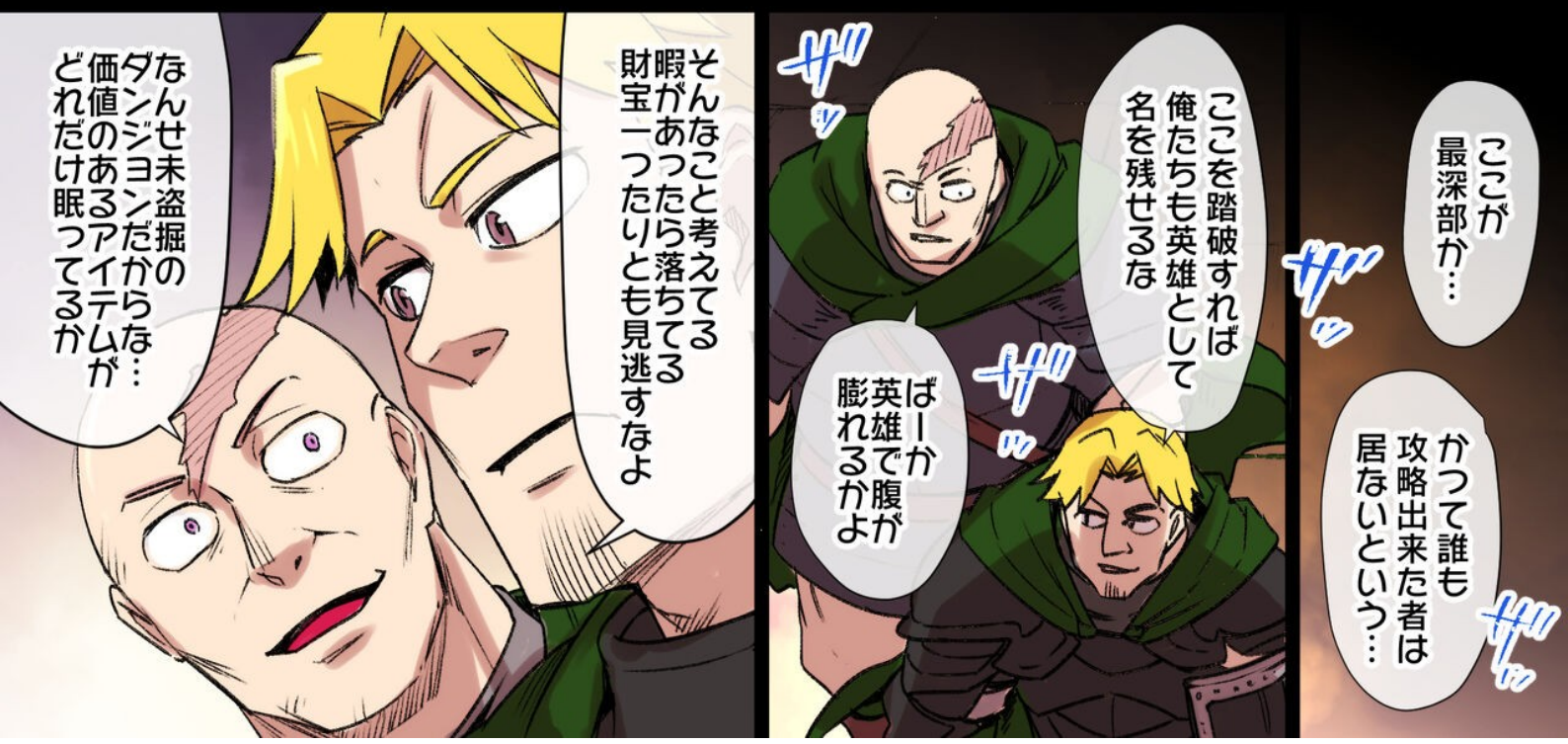
師匠の私が保証してあげる♥

いやだ
あああ

俺は魔物になんか
なりたくない…

貴女もすぐに邪神様に支配される喜びを理解できるようになるわ♥
安心しなさい

110キ



ここが最深部か…

かつて誰も攻略出来た者は居ないという…

ここを踏破すれば俺たちも英雄として名を残せるな

ばーか
英雄で腹が膨れるかよ

そんなこと考えてる暇があつたら落ちてる財宝一つたいとも見逃すなよ

なんせ未盗掘のダンジョンだから何が価値のあるアイテムがどれだけ眠ってるか

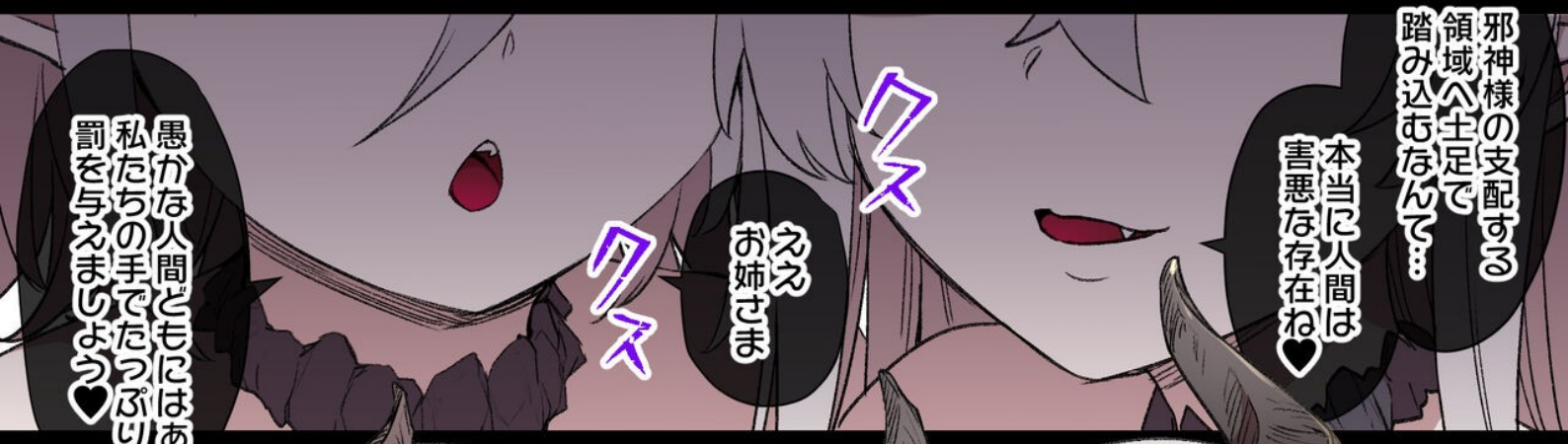
ザッ

ザッ

ザッ



愚か者ども…



邪神様の支配する
領域へ土足で
踏み込むなんて…

本当に人間は
害悪な存在ね♡

ええ
お姉さま

クッス

愚かな人間どもにはあ
私たちの手でたっぷり
罰を与えまじよう♡



私たちがゴイルが
貴方たちの相手をしてあげる